



大 い ち ょ う

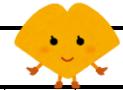


令和7年 10月10日
富士市立伝法小学校
校長 四條 秀樹

朝晩は秋らしさを感じるようになりましたが、まだまだ厳しい残暑の毎日となっております。夏休みが終わって、1か月半。子どもたちは、学習や運動、そして友達との楽しい時間を笑顔で過ごしています。

さて、7月には、「教育に関するアンケート(保護者回答)」にご協力いただき、ありがとうございました。皆様が感じている子どもや学校への思い、そして、子どもたちが大きく健やかに成長してほしいという願いが、集計結果に表れています。この結果を生かし、今後の教育活動をさらに発展させていきたいと思います。ご家庭でも、今回の結果に目を通して、お子様と学校のことについて話す話題の1つとしてみてください。

令和7年度 教育に関するアンケート結果(前期)

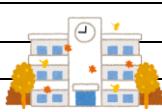


| 番号 | 評価内容 (カッコ内は教職員) | 対象 | R6肯定割合 | | 前年度比較 | 分析 |
|----|---|-----|--------|--------|-------|----|
| | | | R6肯定割合 | R7肯定割合 | | |
| 1 | 子どもたちは、楽しく学校生活を送っている。 | 児童 | 95.7% | 96.8% | ↑ | ○ |
| | | 保護者 | 97.0% | 97.8% | ↑ | ○ |
| | | 教職員 | 100.0% | 100.0% | → | ○ |
| 2 | 子どもたちは、伝法小学校と吉原小学校、吉原第一中学校は、「あこがれ・チャレンジ・笑顔」という同じ学校教育目標になっていることを知っている。(目標を意識して生活している。) | 児童 | 94.1% | 78.3% | ↓ | |
| | | 保護者 | 94.7% | 92.1% | ↓ | ○ |
| | | 教職員 | 97.2% | 87.5% | ↓ | ○ |
| 3 | 子どもたちは、合言葉「やってみます」を意識して学校生活を送っている。(「やってみます」に向けて教育活動に取り組んでいる。) | 児童 | 95.9% | 92.5% | ↓ | ○ |
| | | 保護者 | 88.5% | 87.7% | ↓ | ○ |
| | | 教職員 | 100.0% | 95.8% | ↓ | ○ |
| 4 | 子どもたちは、自分が住んでいる地域が好きである。家庭で、地域の行事について話をすることがある。 | 児童 | 98.2% | 96.6% | ↓ | ○ |
| | | 保護者 | 50.1% | 79.6% | ↑ | |
| | | 教職員 | 97.2% | 100.0% | ↑ | ○ |
| 5 | 地域の人が、学校のために活動をしていることで、学びや学校生活がよりよくなっている。(地域の人・もの・社会と関わりを深めている。) | 児童 | 97.3% | 75.8% | ↓ | |
| | | 保護者 | 96.6% | 97.8% | ↑ | ○ |
| | | 教職員 | 97.2% | 100.0% | ↑ | ○ |
| 6 | 子どもたちは、だれにでも進んであいさつができる。 | 児童 | 92.3% | 56.8% | ↓ | |
| | | 保護者 | 85.9% | 84.4% | ↓ | ○ |
| | | 教職員 | 86.1% | 70.8% | ↓ | |
| 7 | 子どもたちは、自分から「ありがとう」「ごめんなさい」が言える。 | 児童 | 調査なし | 67.8% | 比較なし | |
| | | 保護者 | 調査なし | 92.0% | 比較なし | ○ |
| | | 教職員 | 調査なし | 87.5% | 比較なし | ○ |
| 8 | 子どもたちは、悩みや困ったことなどを相談できる人がいる。(悩みや困ったこと相談している。) | 児童 | 89.1% | 74.1% | ↓ | |
| | | 保護者 | 95.0% | 95.6% | ↑ | ○ |
| | | 教職員 | 94.4% | 91.7% | ↓ | ○ |
| 9 | 子どもたちは、生活が楽しくなるように工夫して生活している。 | 児童 | 92.1% | 91.8% | ↓ | ○ |
| | | 保護者 | 92.0% | 92.6% | ↑ | ○ |
| | | 教職員 | 94.3% | 100.0% | ↑ | ○ |
| 10 | 子どもたちは、相手のことを考えて行動している。 | 児童 | 94.3% | 92.5% | ↓ | ○ |
| | | 保護者 | 93.0% | 91.3% | ↓ | ○ |
| | | 教職員 | 94.4% | 91.7% | ↓ | ○ |
| 11 | 自分たちの学校がきれいになるよう、進んで掃除をしている。家庭で、自分が使った場所をきれいにしている。 | 児童 | 94.3% | 95.3% | ↑ | ○ |
| | | 保護者 | 59.2% | 61.9% | ↑ | |
| | | 教職員 | 88.6% | 87.5% | ↓ | ○ |
| 12 | 子どもたちは、自分にはよいところがあると思っている。(よさを認め励ますために意図的な関わりや場面を設定している。) | 児童 | 86.3% | 85.4% | ↓ | ○ |
| | | 保護者 | 93.5% | 94.0% | ↑ | ○ |
| | | 教職員 | 100.0% | 100.0% | → | ○ |
| 13 | 授業が楽しい。(子どもたちは、楽しく行っている。) | 児童 | 93.8% | 95.7% | ↑ | ○ |
| | | 保護者 | 91.8% | 95.3% | ↑ | ○ |
| | | 教職員 | 100.0% | 100.0% | → | ○ |
| 14 | 子どもたちは、授業(学習したこと)が分かっている。 | 児童 | 95.0% | 95.9% | ↑ | ○ |
| | | 保護者 | 86.9% | 86.1% | ↓ | ○ |
| | | 教職員 | 97.2% | 95.7% | ↓ | ○ |
| 15 | 子どもたちは、自分の考えを友達にわかりやすく話したり、友達の考えを最後まで聞いていたりしている。(自分の考えをわかりやすく話したり、話を最後まで聞いたりする力が付いてきている。) | 児童 | 93.2% | 95.5% | ↑ | ○ |
| | | 保護者 | 77.5% | 77.0% | ↓ | |
| | | 教職員 | 91.4% | 83.3% | ↓ | ○ |
| 16 | 子どもたちは、チャレンジノートなど、自分から進んで学習に取り組んでいる。家庭で学習する「宿題を含む」習慣がある。(家庭で学習する習慣が身に付いている。) | 児童 | 87.1% | 89.2% | ↑ | ○ |
| | | 保護者 | 87.2% | 86.3% | ↓ | ○ |
| | | 教職員 | 93.9% | 100.0% | ↑ | ○ |
| 17 | 子どもたちは、分からないことや疑問に思ったことを、友達や先生に訊いている。 | 児童 | 88.2% | 86.9% | ↓ | ○ |
| | | 保護者 | 80.0% | 77.0% | ↓ | |
| | | 教職員 | 91.7% | 82.6% | ↓ | ○ |

| | | |
|----|--|---|
| | 肯定・・・評価A(そう思う)+評価B(どちらかと言えばそう思う) 否定・・・評価C(あまりそう思わない)+評価D(そう思わない) | 分析○:満足(80%以上肯定) ▼:課題(50%以上が否定) |
| 18 | 子どもたちは、学校・家庭でタブレットやパソコンなどを使って学習している。(ICT機器を活用して授業を行っている。) | 児童 87.7% 89.4% ↑ ○ 保護者 77.1% 70.2% ↓ ○ 教職員 91.4% 100.0% ↑ ○ |
| 19 | 子どもたちは、めあてをもって運動に取り組んでいる。 | 児童 90.5% 91.1% ↑ ○ 保護者 73.2% 71.2% ↓ ○ 教職員 91.2% 82.6% ↓ ○ |
| 20 | 子どもたちは、毎日「早寝・早起き・朝ご飯」ができている。家庭で「早寝・早起き・朝ご飯」を意識した生活を送っている。(規則正しい生活習慣を身に付けられるよう、取り組んでいる。) | 児童 77.5% 77.9% ↑ ○ 保護者 85.1% 85.3% ↑ ○ 教職員 94.3% 91.7% ↓ ○ |
| 21 | 子どもたちは、毎日の給食を好き嫌いしないで食べている。家庭で食事のとき、好き嫌いをせず食べている。(苦手な食べ物でも、少しあは食べられるようになったり、食の大切さを感じたりしている。) | 児童 86.9% 83.9% ↓ ○ 保護者 73.0% 73.7% ↑ ○ 教職員 94.1% 87.5% ↓ ○ |
| 22 | 子どもたちは、きまりを守ってけがをしないよう安全に生活している。 | 児童 94.6% 92.8% ↓ ○ 保護者 95.4% 94.0% ↓ ○ 教職員 94.1% 91.7% ↓ ○ |
| 23 | 子どもたちは、もしものときに、自分の命を守るために考えて行動することができる。 | 児童 96.6% 95.3% ↓ ○ 保護者 89.3% 85.3% ↓ ○ 教職員 85.7% 91.7% ↑ ○ |

集計結果について(考察)

よいあらわれ

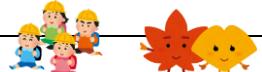


○学習関連について 設問13・14・15・16

本校では、「学びをつなぐ子」の育成を目指し、子どもが主体的に学べる授業に取り組んでいます。「授業が楽しい」「学習したことが分かっている」「自分の考えを分かりやすく話したり、友達の考えを最後まで聞いたりしている」の項目では、どれも児童の割合が前年度よりも高くなっています。これは、授業において、子どもたちが「なんでだろう?」「調べてみたい。」と思うような工夫した課題を提示したり、子どもたちの言葉をつないで課題を解決したりするなど、授業改善を進めてきた成果だと思います。また、家庭学習にも進んで取り組んでいると考えている児童の割合も前年度よりも高くなっています、主体的な学びの広がりを嬉しく思います。今後も、引き続き児童が主体的に学び、対話を通して理解が深まる授業を行っていきます。

○清掃活動について 設問9・11

学校生活では、水曜日以外の昼休み後に清掃を行っています。設問の11「自分たちの学校がきれいになるよう、進んで掃除をしている」の項目では、児童の割合が前年度よりも高くなっています。自分たちが使っている場所を進んできれいにしようという気持ちを持つことは生活において大切なことです。掃除の時間には、自分の掃除場所に合った掃除の仕方や道具の使い方を覚えて、一生懸命に掃除する児童の姿がたくさん見られます。また、高学年は特別教室や体育館などの場所も含め、静かに黙々と掃除を行っています。家庭でも、自分が使った場所をきれいにしている割合が高くなっています。学校・家庭でよい成果が表れていることが分かります。これからも、学校と家庭で協力して声掛けをしていきましょう。



改善したいあらわれ

○あいさつについて 設問6

「だれにでも進んであいさつができる」の項目では、三者ともに前年度より割合が低くなっています。特に児童の割合が大きく下がっており、学校生活における基本的生活習慣やコミュニケーション力の低下が心配です。今後、児童会・委員会で話し合ったり、児童の様子を見たりしながら、対策を考えていきます。また、「相手のことを考えて行動している」でも三者とも前年度より低下しています。あいさつとも関連し、相手意識の低下も心配されます。学校は、多くの仲間と共に生活する場であり、多くのことを学ぶことができます。相手意識を持ち、自分も友達も気持ちよく過ごせるよう声掛け・支援をしていきたいと思います。

○学校教育目標・合言葉について 設問2・3

「あこがれ・チャレンジ・笑顔」は小中一貫学校教育目標として、三校で同じ教育目標となっています。また、今年度は重点目標を合言葉に変え、子どもたちに馴染みやすいようにしました。合言葉は「やってみます」です。子どもたちが自動的に行動し、自ら学び生活していくようになってほしいという願いが込められています。学校評価の結果から、4月～7月までの期間ではまだ浸透していないことを感じました。目標に向かって頑張ることは、子どもたちの成長にとって大切なことです。子どもたちの頑張りを教育目標の言葉や「やってみます」で後押しできるよう支援していきます。

心掛けていきたいこと



○相談できる雰囲気づくり 設問8・17

「分からぬことや疑問に思ったことを、友達や先生に訊いている」の項目では、三者とも前年度より低い割合となっています。「授業が分かっている」の割合が高いため、自分で解決したり理解したりすることも多いと考えられますが、友達や先生に進んで訊くことは主体的な学習につながります。授業では、ペアやグループで話し合う時間を意図的にとっています。その中で、子どもたちが分からぬことや疑問に思ったことを気軽に訊くことができるような雰囲気作りも大切だと思います。また、そのような雰囲気作りは、「悩みや困ったことなどを相談できる人がいる」の項目にも関連してくると考えられます。各学級で、先生と子ども、子どもたち同士が気軽に訊きあう雰囲気作りを目指していきます。

※学校評価アンケートの記述欄にも、貴重なご意見をいただきありがとうございました。

全職員で共有し、今後の教育活動につなげてまいります。